

主な事務事業

1 生活環境

- ▶ 除雪対策事業 3億5,000万円
- ▶ 常備消防費 3億3,855万円
- ▶ 廃棄物処理対策事業 1億8,189万円
- ▶ 住宅建設資金金利負担軽減補助金 3,100万円
- ▶ 田園バス運行事業補助金 2,747万円
- ▶ 六原駅周辺整備事業 1,980万円

「快適で安全・安心な暮らしと環境にやさしいまち」



2 健康福祉

- ▶ 子ども・子育て支援事業 5億7,323万円
- ▶ 障害者自立支援給付費 4億3,488万円
- ▶ 児童手当給付事業 3億1,803万円
- ▶ 障害児通所給付事業 9,397万円
- ▶ 放課後児童健全育成事業 8,314万円
- ▶ 子ども医療費給付費 6,635万円

「いきいきと健やかに暮らせるまち」



3 産業

- ▶ 企業立地促進奨励事業費補助金 3億円
- ▶ 日本型直接支払制度(多面的機能支払交付金) 2億3,475万円
- ▶ 県営農業農村整備事業 5,244万円
- ▶ 東西交流施設管理事業 1,236万円

「産業の振興で活力のあるまち」



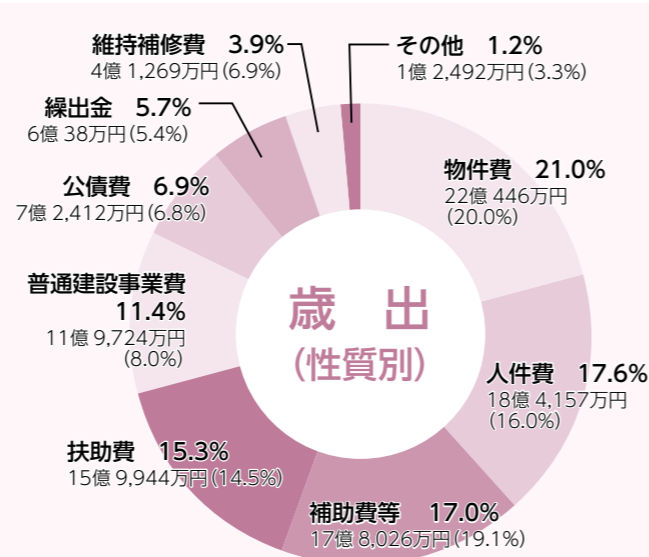
4 教育文化

- ▶ 学校給食センター施設整備事業 1億3,530万円
- ▶ 森山総合公園管理事業 1億1,076万円
- ▶ 通学バス運行事業 4,048万円
- ▶ 友好・姉妹都市との交流事業 1,036万円

「未来へつながる豊かな心を育てるまち」

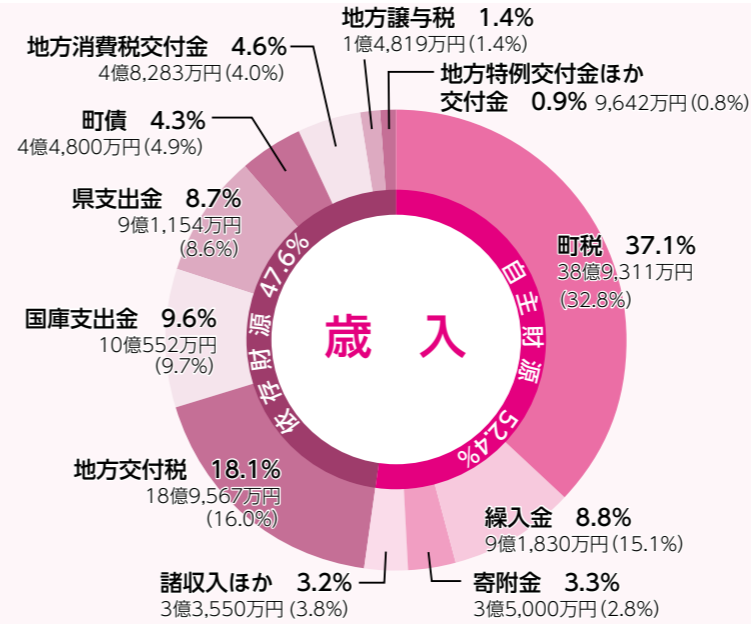


一般会計 104億8,507万5千円 前年度比2億3,018万7千円2.1%減



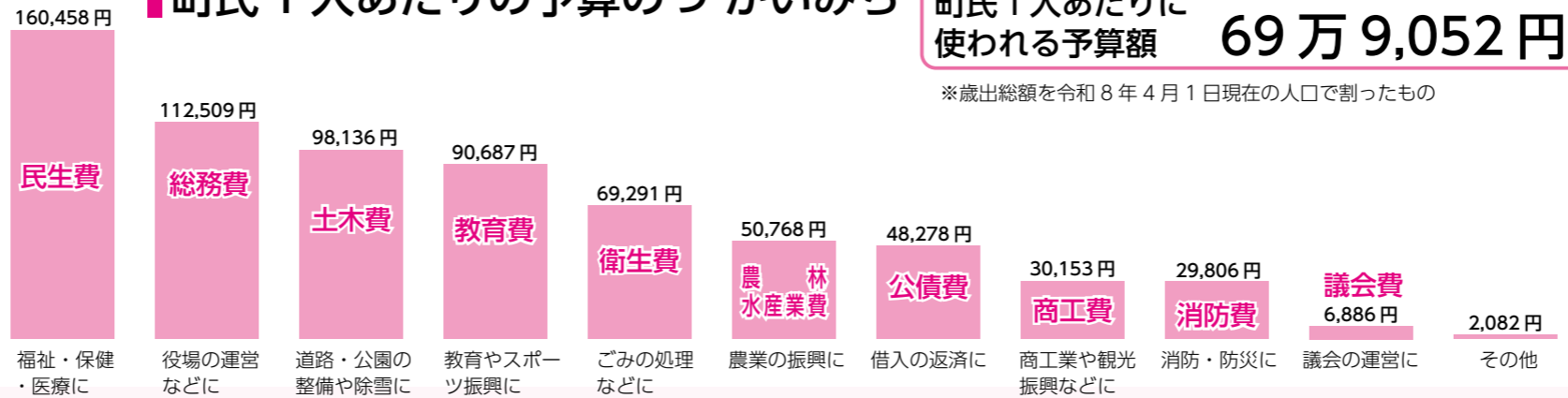
※()内は前年度予算の割合

扶助費は、公定価格改定(法令に基づく価格改定)に伴う保育関連経費等の増により、前年度比4,748万円増の15億9,944万円です。普通建設事業費は、企業の立地に伴う企業立地促進奨励事業費補助金や福祉センター建設補助金等の増により、前年度比3億4,413万円増の11億9,724万円となっております。



町税は、個人町民税、法人町民税及び固定資産税の増により前年度比3億7,858万円増の38億9,311万円です。繰入金は、町税の増加やふるさと応援寄附金の運用見直し等により、前年度比7億195万円減の9億1,830万円です。寄附金は、ふるさと応援寄附金の増により、前年度比5千万円増の3億5千万円となっております。

町民1人あたりの予算のつかいみち



町民1人あたりに使われる予算額 **69万9,052円**

※歳出総額を令和8年4月1日現在の人口で割ったもの

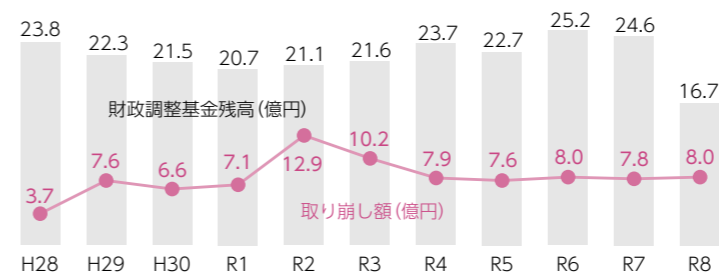
特別会計・企業会計予算

■特別会計		36億1,405万円	
国民健康保険	13億7,283万円	前年度比	12.6%増
訪問看護ステーション事業	2,904万円		5.2%増
介護保険事業	15億866万円		0.4%増
介護サービス事業	481万円		12.1%増
診療施設(医科)	3億7,377万円		1.5%減
診療施設(歯科)	4,438万円		0.01%減
後期高齢者医療	2億4,142万円		31.5%増
岩手中部工業団地内工業用地整備事業	3,914万円		8.2%増
■企業会計			11億8,465万円※
水道事業	3億9,127万円	前年度比	0.5%増
下水道事業	7億9,338万円		0.1%減

※収益的支出の額

財源不足に対応するため基金を活用

財源不足に対応するため財政調整基金、いわゆる貯金を取り崩すことにより予算を成り立たせています。令和8年度予算では7億9,636万円を取り崩しており、取り崩し後の基金残高見込みは、16億6,807万円となります。



財政調整基金残高と取り崩し額の推移

令和8年度 予算 1年間の収入・支出は?

町総合計画 基本構想(まちづくりの将来像)
人と地域が支えあうまち 金ヶ崎の実現に向けて

令和8年度一般会計予算額は、2月議会定例会で可決された骨格予算と4月議会臨時会で可決された肉付け予算を合わせて104億8,507万5千円となりました。特別会計・企業会計予算額は47億9,870万4千円となり、一般会計と合わせた予算総額は152億8,377万9千円となりました。
令和8年度は、まちづくりの将来像実現に向けて、基本構想で掲げている基本目標の「生活環境」、「健康福祉」、「産業」、「教育文化」に沿った事業を着実に取り組みます。